

2024年6月21日

2024年度 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

株式会社シャルレ

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会が適切に機能しているか検証し、その結果を踏まえて問題点（課題点）の改善等、必要な措置を講じていくという継続的なプロセスにより、取締役会のより一層の機能強化を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する評価・分析を実施しましたので、その概要を報告いたします。

1. 2024年度の分析・評価のプロセス

- (1) 2024年3月にすべての取締役（9名）に対してアンケートを実施
- (2) 上記(1)のアンケート内容に関して、全取締役の間にて、当社取締役会に対する問題点（課題点）を、さらに深堀するための意見交換
- (3) 上記(2)の意見交換を踏まえ、2024年6月開催の取締役会において、すべての取締役の間で当社取締役会の実効性評価に関する評価結果を審議し、2024年度の評価結果を確定

※当社では、一定の客観性が担保され则认为、アンケートに関しては、自己評価方式を継続しております。

（アンケート項目）

2024年度のアンケートの項目は、以下のとおりです。各設問に4段階で評価する方式とし、それぞれ項目に関して自由記述欄を設けています。

1. 前年度の課題改善状況、2. 取締役会の構成、3. 取締役会の運営、4. 意思決定のなされ方、5. 取締役会への情報提供、6. コーポレート・ガバナンス体制と運営、7. 取締役へのサポート体制、8. ガバナンス向上委員会の報告書における指摘事項 等

1. 評価の方法

当社のすべての取締役に対し、取締役会の実効性に関して、段階評価およびコメントを記載する方式のアンケートを配付し、記名方式によりすべての取締役から回答を得ました。

これを集計した上で、アンケートへの回答内容をもとに取締役の間において、意見交換を行い、課題を抽出し、今後の取組み等について、建設的な討議を行いました。

2. 評価結果の概要

上記による評価の結果、取締役会の運営、意思決定のなされ方、取締役会への情報提供、取締役へのサポート体制の面などにおいては、当社の取締役会は概ね適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることを確認しました。

一方で、取締役会の実効性をさらに高めていくために、引き続き、継続して取り組むべき課題と、新たな課題として、次のような意見が出され、課題が確認されました。

(1) 前年度の課題改善状況および継続課題

①中期経営計画における議論の充実

取締役会においては、前年度より中期経営計画に関して、しっかりと課題を把握し、議論の進展が図られているものの、中長期的な企業価値の向上に向けた、経営や事業戦略の課題に対して、自部門の課題を把握し、スピード感を持って建設的な議論に取り組むこと

②後継者育成計画

優先順位として中期経営計画を遂行する方が高いものの、取締役会のスキルマトリックスをもとに、管掌取締役が中期経営計画を遂行するなかで会社の中核人材を担う次期社長（CEO）や取締役候補者を育成するプログラム立案に取り組むこと

(2) 今年度の新たな課題

①サステナビリティを巡る議論

サステナビリティを巡る課題に関して、取締役会にて情報共有を初め、当社として議論する機会を設けて現状を認識し、ESG（環境・社会・ガバナンス）を含めた課題等を社内外に対して開示することに取り組むこと

3. 今後の対応

当社取締役会は、取締役の間において認識された課題について、今後も継続して実効性の向上を図るために必要な取り組みを実施し、さらなる改善に努めてまいります。

なお、取締役会の実効性評価につきましては、今後においても定期的実施することを予定しております。

以 上